



今年も春の使者が



春の使者、白鳥が今年も大群を率いて本町を通過しました。渡り鳥の白鳥はシベリアや北米大陸のツンドラ地域に生息しますが冬の間は約 4,000km を南下して本州で越冬します。本町は中央フライウェイの西端にあたりこのルートはマガン、コハクチョウが飛んでいます。雪解けの水田で虫や落ち穂をついばみ、更に旅を続けます。

(4月16日)

子ども達へ絵本を



町内企業のトーホテック株式会社から今年も図書の寄贈がありました。子ども達に少しでも本に親しんでもらおうと、平成14年から毎年続けてきた図書の寄贈は、今回の54冊を合わせ、合計928冊に。これらは巡回図書として各小学校を回った後、西当別コミュニティセンター図書室の蔵書となり、閲覧・貸出しが出来ます。

会社代表の白木和広さんは「当別に移り住んだとき、本を読める環境は必要と思いました。今年も本を渡せてよかった。」と話しました。

(3月25日)

医療大 869 名が入学



北海道医療大学で入学式が行われ、新設されたりハビリテーション科学部のほか、5学部8学科合わせて869名が入学しました。

新川詔夫学長から「保健・医療・福祉のプロフェッショナルを目指し、高度な知識、技術を身につけて欲しい。」と告辞があり、学生達は緊張した面持ちで聞いていました。

また、北石狩農業協同組合、当別町商工会等から新入生の皆さんへ、入学のお祝いとして当別産のお米、町内の共通商品券等が贈られました。

(4月5日)

広告

広告

広告

広告

認知症の理解を



認知症に関する情報提供や認知症の人と介護者が支え合える地域作り活動をしている当別町介護者と共に歩む会（五十嵐潔会長）の研修会がゆとろで行われ、会員や町内の老人クラブなど約60名が参加しました。

会では年に5～6回の研修を行っており、今回は利用者のほとんどが認知症の「小規模多機能拠点・大畑の家」というDVDを鑑賞しました。参加者の中には、映像の中で流れる介護者たちの話に対し、共感して何度もうなずく姿が見られました。（4月12日）

半年に1度の作品展



町内六軒町で、油彩・水彩・絵手紙を指導している中川絵画塾の塾生春の作品展がふれあい倉庫で開催されました。

小学4年生から84歳までの生徒が描いた60点が展示され、見学に訪れた方も力作揃いの作品に見とれていました。

塾生を指導している中川久雄さんは、「それぞれに個性があり、描き方の特徴も異なります。日々上達していく姿を見るのがとても嬉しいですね。」と、目を細めていました。

（4月16日）



広告

広告

広告

広告